

市民部会からの報告（詳細）

Ⅰ まち歩きワークショップ（第Ⅰ回市民部会）結果について

(1) 開催目的

府中市バリアフリー基本計画(以下「基本計画」といいます。)に定めた特定事業等の推進のため、市民参加による現地確認・意見交換を行う「まち歩きワークショップ」(以下「ワークショップ」といいます。)を開催しました。

ワークショップでは、複数班に分かれて現地を確認・点検し、各施設の利用しやすい点や課題点などを確認しました。その後の意見交換では、確認した施設のバリアフリー状況に関する意見を他のメンバーに共有していただきました。



図1 ワークショップの様子

(2) 開催概要

ワークショップは、下表のとおり開催しました。

表1 開催概要

日程	令和7年7月14日(月)10:00~12:00
対象施設	東府中駅周辺重点整備地区 市道(経路番号③)平和通り(京王線東府中駅北側)
班構成	2班構成(1班10名程度) 23名 ・市民部会委員(大門部会長、能松委員、河井委員、高野(淳)委員、太田委員、阿部委員、荒金委員、高野(佳)委員) 8名 ・障害者団体(府中市聴覚障害者協会・府中視覚障害者福祉協会)の会員 3名 ・事務局(計画課職員4名、委託事業者4名) 8名 ・施設設置管理者(道路課) 4名
内容	資料説明、現地確認、意見交換

(3) プログラム

項目	時間	内容	場所等
1.現地集合	10:00	○集合 ○出欠確認、資料確認	教育センター会議室
2.現地確認	10:00 (20分)	○開会挨拶 ○本日の目的及び進め方の説明 ○平和通りの整備概要の説明 ○参加者自己紹介 ○現地確認ルートの確認	同上
	10:20 (40分)	○現地確認	平和通り等
(休憩)	11:00 (15分)	各自休憩、シート記入	教育センター会議室
3.意見交換	11:15 (30分)	○各施設のバリアフリー状況に関する意見交換 ○バリアフリー全般の課題に関する意見交換	同上
4.閉会	11:45 (15分)	○他班への意見共有 ○今後のスケジュール ○閉会挨拶	同上
(解散)	12:00		

(4) 対象施設

今後整備が予定される平和通り(東府中駅北側)を対象とし、班ごとに現地確認・意見交換を行いました。



図2 確認エリアのイメージ

(5) 実施結果

各班から得た主な意見は、以下の通りです。

①平和通り

■意見・指摘事項(◎:良い点 △:課題として指摘された点 ☆:その他の意見)

項目	意見内容
段差・舗装	<p>◎歩道が広い。</p> <p>◎植栽の植え込みに高さがあり、つまずかなくてよい。</p> <p>◎段差がほとんどなく、車いすの通行に問題ない。</p> <p>◎全体的には歩車道境界の段差も小さく、車いすで通行しやすい。</p> <p>◎個人的には、歩車道境界がきちり90度の段差になっていなくても、今のなだらかな段差で問題ない。そのほうが車いすも通りやすいかと思う。一方で、視覚障害者の求めるものに個人差があることから、様々な当事者の意見を聞く必要がある。</p> <p>△舗装が劣化しており、ところどころ足が引っかかるところがある。写真1</p> <p>△歩道と車道との段差がわかりにくく、視覚障害者はわからずに車道に出て行ってしまふ可能性がある。写真2</p> <p>△車いす使用者は、段差がある箇所や舗装されていない道路ではタイヤが引っかかる。</p> <p>△視覚障害者は、横断歩道の歩車道境界の段差がわかりにくい。</p> <p>△西側の歩道の横断勾配がきつい。→改修では車道側の植栽エリアを活かして勾配を改善する予定である。(道路課)</p>
視覚障害者誘導用ブロック	<p>◎誘導用ブロックが連続設置されていて歩きやすい。</p> <p>◎改修では JIS 規格の誘導用ブロックを入れてもらえるとのことなのでよい。</p> <p>△誘導用ブロックが途切れているところがある。</p> <p>△動線と誘導用ブロックがずれている箇所がある。</p> <p>△誘導用ブロックの維持管理が必要である。</p> <p>△誘導用ブロックの急な曲がりがないように検討する必要がある。写真3</p> <p>△誘導用ブロックの点状ブロックが道路のぎりぎりまであり、危ない。</p> <p>△車止めが誘導用ブロックの延長線上にある。写真4</p> <p>△マンホールの上の誘導用ブロックが途切れていたり、向きが合っていないかたりするところがある。写真5 写真6</p> <p>☆誘導用ブロックの敷設位置については個人的には問題ないと感じたが、人によって異なるため、ほかの当事者の意見を聞いてみたい。</p>
横断歩道・信号機	<p>△音響式信号機が整備されていない。</p> <p>△エスコートゾーンをつけてほしい。写真7</p> <p>△横断歩道の信号が変わるのが早いため、延長ボタンを設置してほしい。</p> <p>△横断歩道の幅と歩道に上がる部分の幅が合っていない箇所があるため、横断歩道を渡る人が植栽の勾配のある部分にぶつかってしまう。視覚障害者だけでなく自転車等にとっても危険。(府中の森芸術劇場東交差点から2つ南側の交差点)。写真8</p>
自転車通行	<p>△自転車のスピードが速いので、自転車運転マナーの啓発が必要である。</p> <p>△自転車専用通行帯が欲しい。</p> <p>△車止めが自転車の邪魔になり、さらに歩行者がいるとジグザグ走行になってしまう。</p> <p>△舗装が劣化していて自転車にとって走りにくい。</p> <p>☆府中の森芸術劇場や府中の森公園、府中市生涯学習センターがあるため、夕方や週末の利用が多い。朝の通勤通学の時間も自転車が多い。</p>

項目	意見内容
案内	<p>◎府中市美術館の案内表示が、車いすで見えやすい位置にあった。</p> <p>△西側の歩道上に案内表示が少ない。</p> <p>△案内板が古く、見にくい箇所があった。</p>
その他	<p>◎ゴミが落ちておらず、綺麗。</p> <p>◎工事現場の入り口に緑と白のらせん模様のカバーがついており、弱視の人などにとって視覚的に工事中であることがわかりやすくてよい。写真9</p> <p>△秋冬の落ち葉があるときに滑りそうで心配。写真10</p> <p>△沿道店舗は出入口に段差があり、車いすなどでは入れない。</p> <p>△車止めが多くある。特に夜間の視認性が低いため、ぶつかる可能性があり、危険である。写真11</p> <p>△視覚障害者誘導用ブロックや歩道の舗装等、全体的に劣化していて危ない。</p> <p>△道路の街灯が樹木の葉で隠れている。</p> <p>☆電気設備が古くなっているので、交換する場合は LED にして環境対応もするとよい。</p> <p>☆道路交通法が改正された経緯を踏まえ、歩行者と自転車の通行位置を分離する視点も含めた改修が必要ではないか。</p>

写真1
(劣化している舗装の例)



写真2
(歩道と車道の境界の例)



写真3
(誘導用ブロックの急な曲がりの箇所)



写真4
(誘導用ブロックの延長線上にある車止めの例)



写真5
(マンホールで誘導用ブロックがずれている例)



写真6
(マンホールで誘導用ブロックが途切れている例)



写真7
(エスコートゾーンのない横断歩道の例)



写真8
(横断歩道と歩道に上がる部分の幅のずれの箇所)



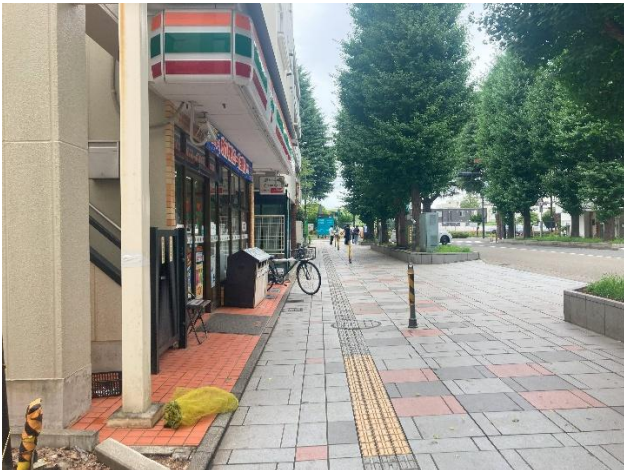
写真9
(視覚的に工事中であることを示している箇所)



写真10
(落ち葉が溜まっている例)



写真11
(車止めの多い場所の例)



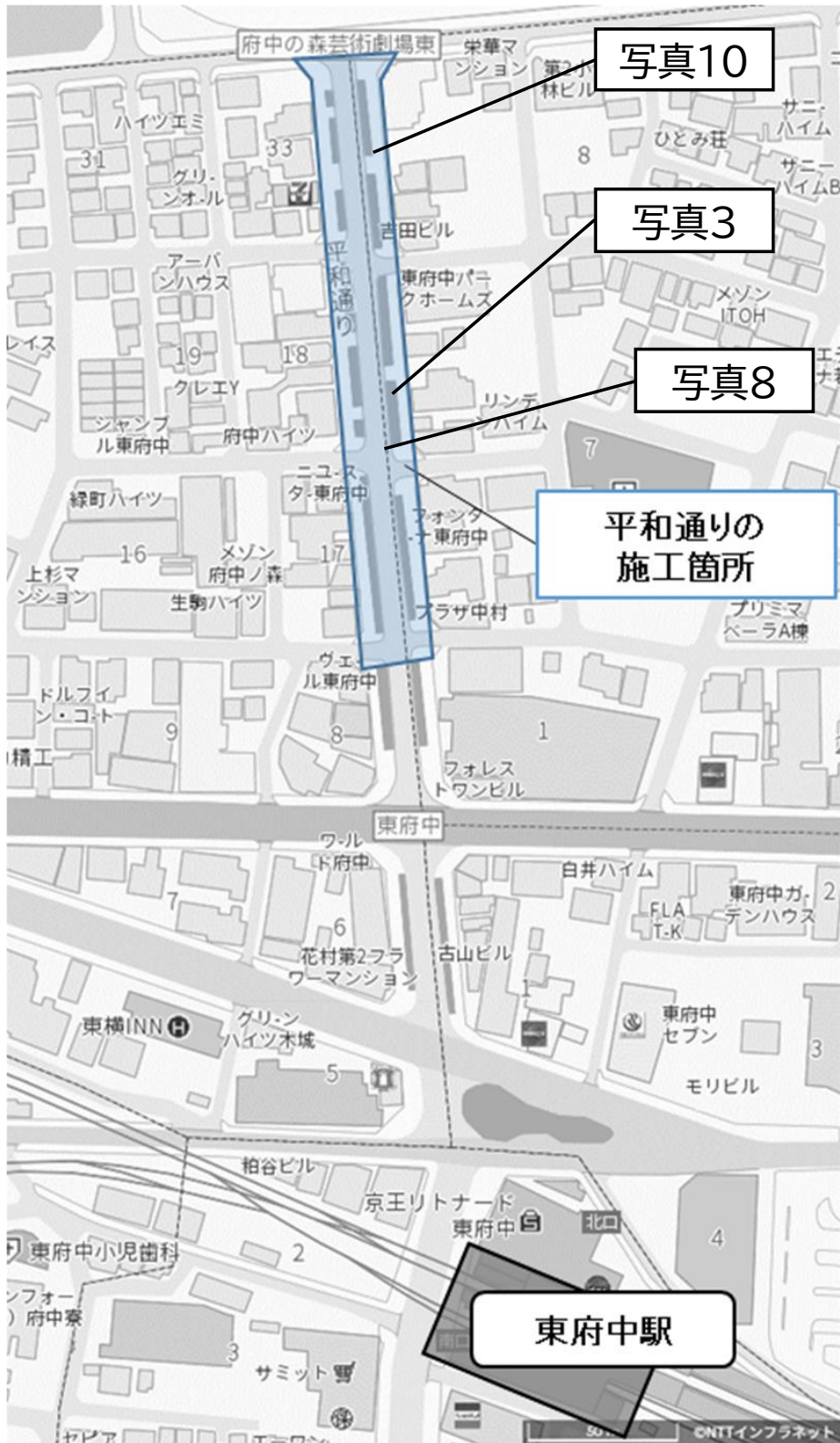


図3 ご意見のあった箇所

②その他気づいた点(バリアフリー全般、その他道路、教育センターなど)

■意見・指摘事項(◎:良い点 △:課題として指摘された点 ☆:その他の意見)

項目	意見内容
東府中駅の踏切	△踏切の遮断機が下りるまでの時間が早い。 △交通量が多いため、できるだけ早く平面交差から立体交差にしたほうがよい。 △段差や隙間があり、タイヤや杖等が挟まった場合に身動きできなくなってしまうのではないか。 写真12
教育センター	◎バリアフリートイレが複数あってよい。 ◎トイレには点字があってよかった。 ◎案内表示がわかりやすい。 ◎誘導用ブロックがあつてよい。 写真13 △トイレに大型ベッドがない。 △トイレの入口に、視覚障害者がここが女子トイレかどうかを確認できるものがない。出入口に触知案内図(音声案内付き)があればよい。
まち歩きの進行について	△まち歩きの際に、聴覚障害者は止まって手話を見て説明を聞いてから、現地を確認するという流れになる。そのため進むのに時間がかかることを考慮してほしい。

写真12
(東府中駅横の踏切)

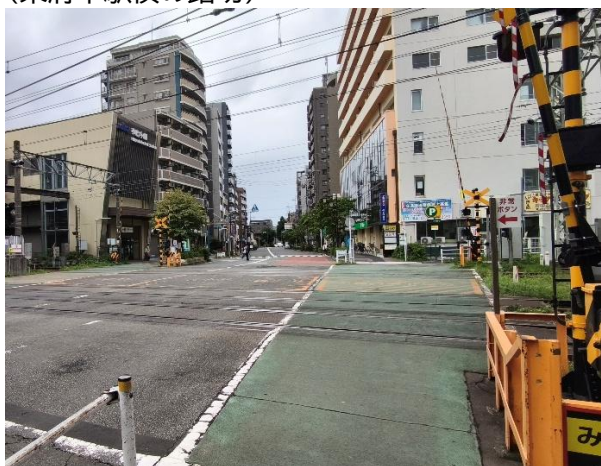


写真13
(教育センターの誘導ブロックの整備例)



2 福祉まつりへの出展結果について

基本計画や心のバリアフリー等の周知・啓発のため、「第45回福祉まつり」に出展し、基本計画の概要や配慮事項、心のバリアフリーに関するパネルを設置しました。また、バリアフリーに関連したICT例の紹介としてコード化点字ブロックの体験や、市内のバリアフリー化整備の写真(トイレ・鉄道駅・道路など)を掲載し、どこにバリアフリーの工夫がされているか等についてクイズ形式で周知・啓発を行いました。

(1) 開催日程

日時:令和7年10月19日(日) 10時から16時まで

会場:けやき並木通りフォーリス前

(2) 実施状況

当日は断続的に雨が降る状況でしたが、73名の方にお立ち寄りいただき、展示を見たり、クイズを体験していただきました。クイズが勉強になったというご意見を多くいただいたほか、日常生活で困っていることなどについてもお話を伺うことができました。



出展ブースの様子



基本計画と心のバリアフリーに関するパネル展示



トイレ・鉄道駅・道路におけるバリアフリーに関するクイズ



コード化点字ブロックの紹介

(3) アンケート結果

府中市の取組や考え方に関する理解度についてアンケート調査を行い、12名の方々から回答を頂きました。

【アンケート結果の集計】

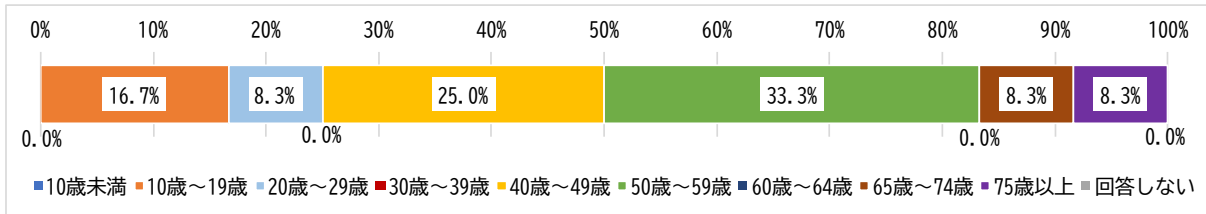


図4 年齢

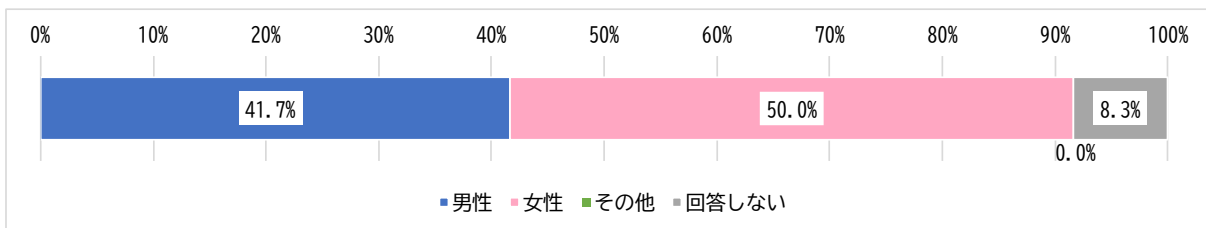


図5 性別

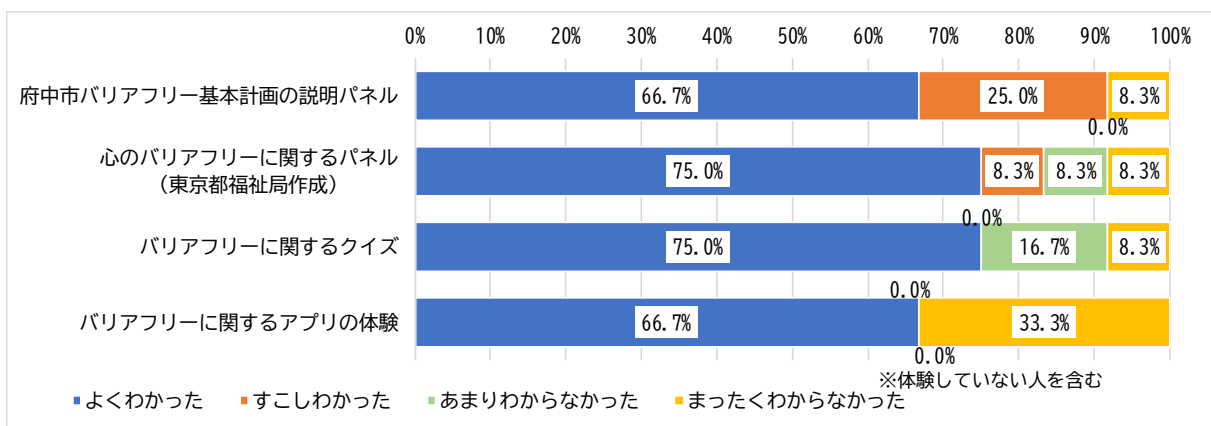


図6 理解度

【主なご意見(現地で聞き取った内容も含む)】

- ・ 狭い歩道では、歩道ブロックや段差、木の根上がりなどでつまずく。
- ・ 信号がすぐに赤になってしまい、車椅子や高齢者が渡りきれない。
- ・ 車椅子の人は歩道と車道との段差が高く、登れない。特に、府中駅のバスロータリーの降車場は縁石の段差が高過ぎて登れない。
- ・ 雪が降ると、アイスバーンになって危険なところがある。
- ・ 雨の日には、石・タイル舗装・ゴム等の歩道の材質や、落葉によって滑って転んでしまう。
- ・ あんず通りの歩車道の切下げが車椅子だと通りにくい。
- ・ 中河原駅の北側にある歩道橋は、バリアフリーになっていない。
- ・ けやき並木通りは、視覚障害者誘導用ブロックの凹凸と舗装の凹凸の区別がつかない。
- ・ すずかけ通りがでこぼこで歩きにくい。
- ・ 公園入口の車止めのせいで大型車いすが通行できない。
- ・ 自転車のマナーが悪い。
- ・ 視覚障害者が読めるように、資料や書籍等の DAISY 図書(国際標準規格のデジタル録音図書)化を進めてほしい。
- ・ 今後のバリアフリーの推進に期待する。
- ・ 府中市における取組をよく理解できた。クイズはよく練られていて、駅やトイレ、道路など気付きの多い内容だった。

3 第2回市民部会について

(1) 開催日程

日時:令和7年12月11日(木) 14時00分から15時38分まで
会場:府中駅北第二庁舎 6階打合せ室

(2) 実施内容

基本計画では、「市民一人ひとりの心のバリアフリーの推進による社会的障壁の除去及び共生社会の実現」を基本方針として定めています。

今後は、この基本方針を基に、各委員が所属団体・事業所の活動状況などを報告しながら意見交換を行い、協議会における相互理解を深め市民に発信することで、心のバリアフリーの推進につなげていきます。

第2回市民部会では、前述したまち歩きワークショップ及び福祉まつりの結果や、心のバリアフリーの推進、次年度以降の基本計画の進め方について、意見交換を実施しました。いただいたご意見及び対応については、資料3に示します。

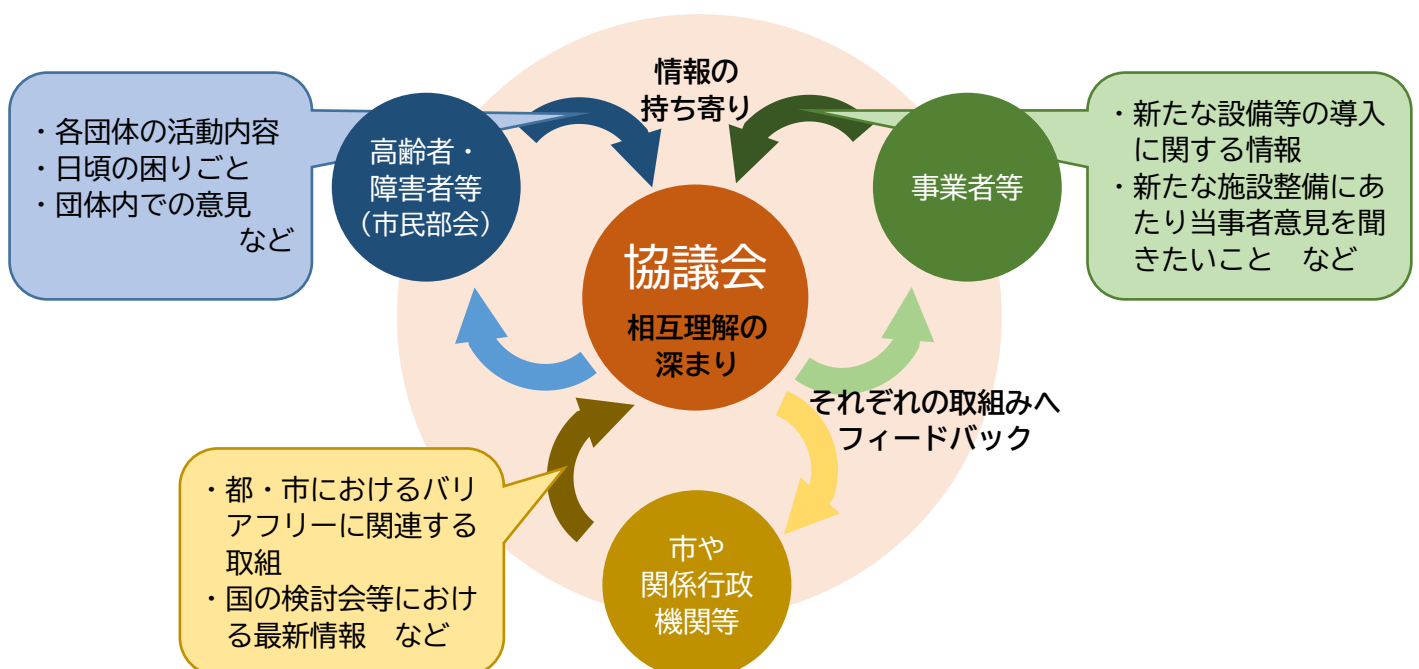
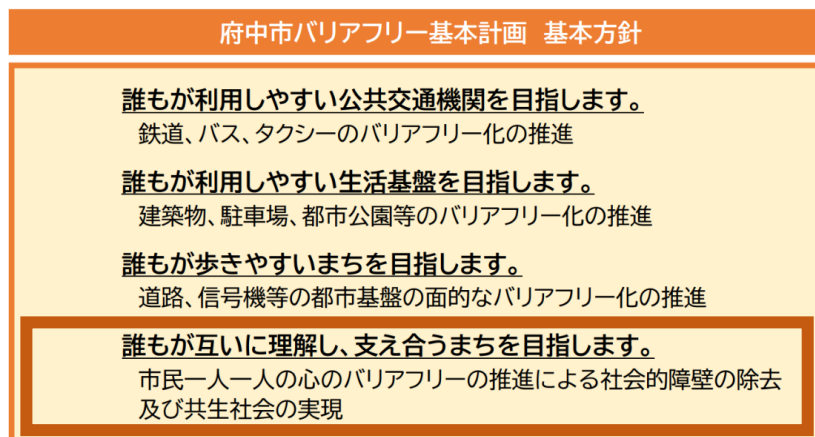


図7 協議会における意見交換のイメージ